学校番号	402

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ（文型）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「現代文Ｂ」［改訂版］下巻　（大修館書店）						
副教材等	改訂新版　最新国語便覧　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・二年間で身につけた国語力を発展させ、社会への対応力と生きるための思考力を高めよう。
・様々な文章に触れ、「読む力」を向上させると共に、コミュニケーションのための「話す力・聞く力」や、意思を伝えるための「書く力」を身につけましょう。
・覚える学習から、自分で問題を提起し、考える習慣を身につけるように意識を変えましょう。
・漢字・熟語・故事成語は、その成り立ち、原義から学ぶこと。
・読書習慣を身につけ、良書を読むことで語彙力と思考力の幅を広げよう。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切かつ効果的に思いや考えを表現することができる。
・論理的な文章を読んで、内容や構成を的確に理解し、歴史上のできごとや現代社会で起こっている様々な事象とリンクさせて考えることができる。
・文学的な文章を読んで、場面を的確に想起し、登場人物の心情を理解することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力・豊かな想像力を場面に応じて活用して、的確に自分の意見を表現することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	言語文化に対する関心を深め、さまざまな作品にふれて見解を広めながら、国語力の向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に自分の意見をまとめて表現できる。また他者の意見を理解して自分の意見と照らし合わせ、より進んだ思考に到達しようとする。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめる。	文章を的確に読み取り、幅広い事象と考え合わせて自分の考えを深める。	漢字・慣用句などを的確に理解して、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察	行動の観察 発表等のパフォーマンスの評価	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査	行動の観察 発表等のパフォーマンスの評価	行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論一・二・三	「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ 「文明と文化の教育」 「生物多様性の恩恵」 「虫愛づる姫君」 「日本文化の三つの時間」 「こころは見える？」	○	◎	○		○	a:文章構成や内容に関心を持ち、的確に捉えようとしている。 b:文章の内容や表現について筋道をたてて考え、自分の意見を発表できる。 c:内容を理解し、自分の考えを文章にまとめている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 b:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価 c:行動の観察、記述の確認、定期考査 e:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価
	小説一	「舞姫」 「檸檬」	○	◎	○		○	a:人物・情景・心情の推移などを的確に捉えようとしている。 b:人物・情景等内容についてイメージしたことがらを、自分の言葉で表現することができる。 c:内容を理解し、自分の考えを文章にまとめている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 b:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価 c:行動の観察、記述の確認、定期考査 e:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価

後期	随想、評論四・五	「陰翳礼賛」 「猫は後悔するか」 「無常ということ」 「現代日本の開化」 「リスク社会としての現代」	○	◎		○	○	a:文章構成や内容に関心を持ち、的確に捉えようとしている。 b:文章の内容や表現について筋道をたてて考え、自分の意見を発表できる。 d:文章の内容や時代背景などについて的確に捉えようとしている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 b:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価 d:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価 e:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価
	小説二・三	「伊豆の踊子」 「離さない」 「蘭」 「赤い繭」	○	◎		○	○	a:人物・情景・心情の推移などを的確に捉えようとしている。 b:人物・情景等内容についてイメージしたことがらを、自分の言葉で表現することができる。 d: 文章の内容や時代背景などについて的確に捉えようとしている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 b:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価 d:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価 e:行動の観察及び発表等のパフォーマンスの評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 話す・聞く能力　　c:書く能力

d:読む能力　　e :知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。